

平成31年1月18日

保護者様

京都市立深草小学校
校長 清川 秀一

平成30年度 学校評価アンケート(12月実施)の結果

大寒の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。平素は本校教育にご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

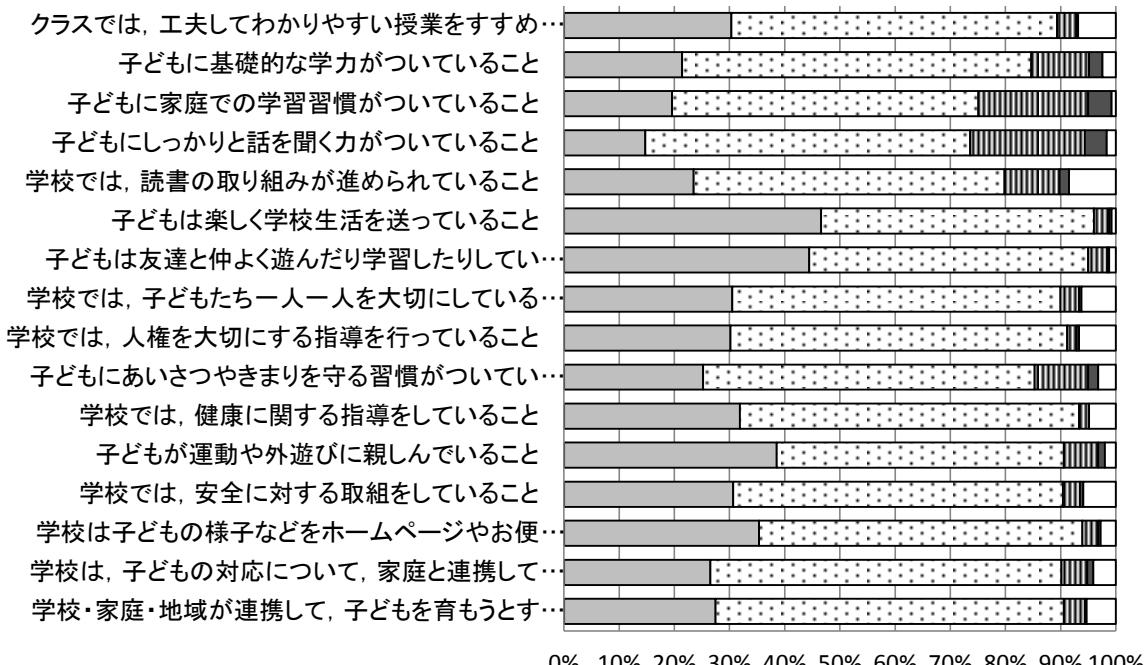
さて、先日行いました学校評価アンケートの結果についてご報告いたします。アンケートは保護者、児童から調査を行い、グラフに表しました。

グラフは左から「よくできている」「大体できている」「あまりできていない」「できていない」で、保護者アンケートはいちばん右に「わからない」を表示しています。

アンケート結果を今後の学校運営に活かしていくよう、努力していきたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

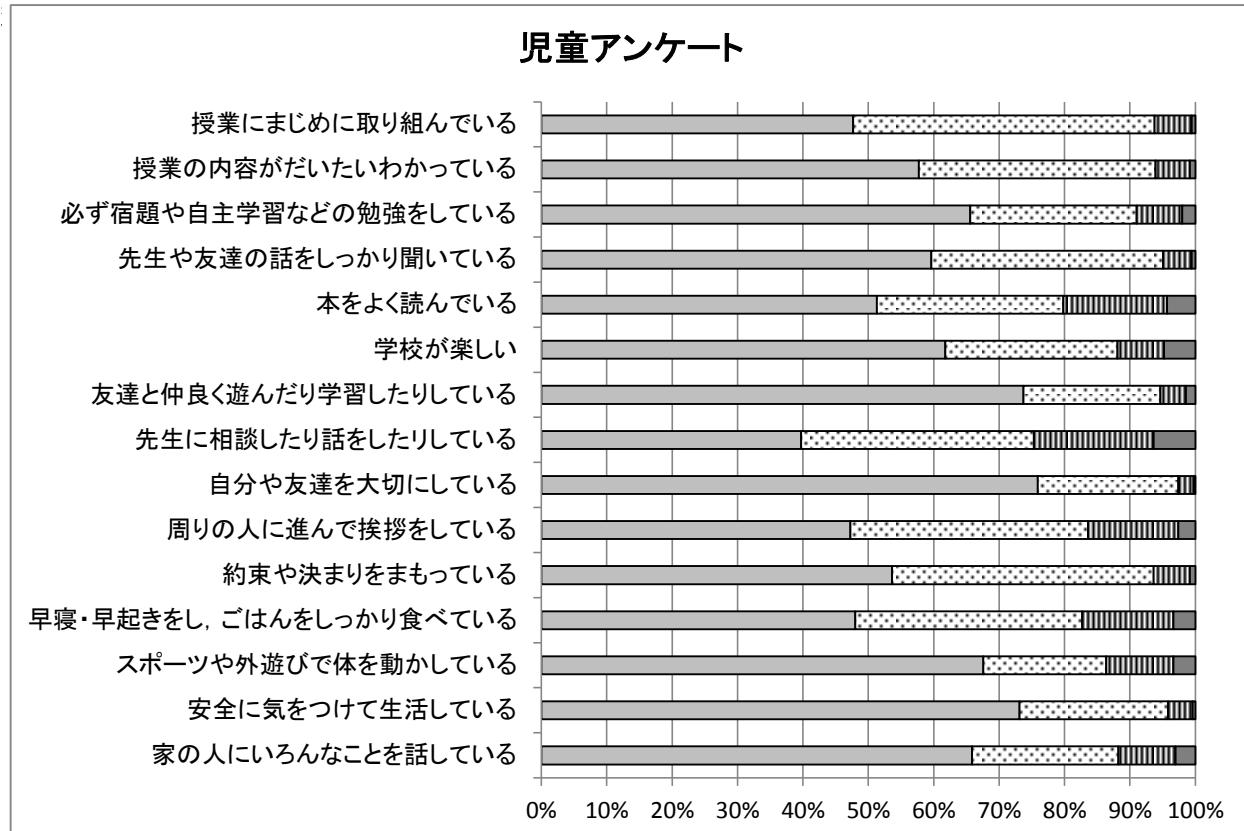
①保護者のアンケートより

保護者アンケート



保護者アンケートの結果の中でプラス評価(「よくできている」と「大体できている」)が低かったのは、「子どもに家庭での学習習慣がついていること」、「子どもにしっかりと話を聞く力がついていること」で、それぞれ75%・74%でした。昨年度より1ポイント上昇しましたが、まだまだ改善の余地があるように思います。「子どもは楽しく学校生活を送っていること」と「子どもは友達と仲よく遊んだり学習したりしていること」では、96%と95%という高い評価でしたが、100%に限りなく近づけるよう子どもたち一人ひとりに目を向けていきたいと思います。「子どもが運動や外遊びに親しんでいること」では、91%でした。冬の時期はなかなか外で運動する機会が少ないと想いますが、運動委員会の企画している大縄跳び大会などで、なるべく外で体を動かせるようにしたいと思います。「学校では、安全に対する取組をしていること」では90%というプラス評価で、近年の自然災害に対する避難訓練や不審者対応など、今後も『子どもたちにとって安全な学校』を目指していきたいと思います。また、「子どもにあいさつやきまりを守る習慣がついていること」においても85%というプラス評価となり、子どもたちが地域の中でしっかりとあいさつの習慣ができてきたことについてはうれしく思っています。「クラスでは、工夫して分かりやすい授業を進めていること」では昨年度と比べて4%のプラスとなりましたが、今後も教員の授業力の向上が求められています。他校への授業参観や研修に進んで参加し、子どもたちの学力向上に向けて研究し、成果を出せるように取り組んでいきたいと思います。

②児童のアンケートより



児童アンケートの結果の中でプラス評価が低かったのは、「せんせいにそだんしたりはなしをしたりしている」で、75%のプラス評価でした。子どもたちが担任と相談しやすい関係性を作っていくたいと思います。「はやね・はやおきをし、ごはんをしっかりたべている」についても83%の結果となりました。基本的な生活習慣ですので、約17%の児童に課題があると考えると、まだ家庭と連携し、生活調べ等の取組を進め、児童の意識を高めていく必要があります。「ほんをよくよんでいる」の項目では昨年とほぼ同じく、80%というプラス評価でした。今後もコミュニティ図書館を今まで以上に利用し、団体貸出などで児童に読書の機会を提供していきたいと思います。「がっこうがたのしい」の項目では、88%という残念な結果でした。今回の結果を真摯に受け止め、100%に近づくように取組を改善していきたいと考えています。

プラス評価が高いのは、「じぶんやともだちをたいせつにしている」、「ともだちとなかよくあそんだりがくしゅうしたりしている」、「あんぜんにきをつけてせいかつしている」、「せんせいやともだちはなしをしっかりきいている」の項目で、95%以上のプラス評価があります。好結果に満足せず、来年度も今年度に引き続き人権学習の取組や安全指導に力を入れていきたいと思います。

両方のアンケートの結果については教職員で共通理解を図ることで、今後も改善に努めていきたいと思います。教職員一同、深草小の子どもたちのために力を尽くしていきますので、ご支援・ご協力をお願いします。



わたくしたちは、

- 1 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切にし、社会の環境づくりを優先します。